

健康増進事業評価マニュアル

広島県健康福祉局

健康対策課

目 次

1 健康増進事業評価の目的

2 健康増進事業の評価の概念

3 評価の方法

- (1) 事業の進め方を認識する
- (2) 事業の進め方の経時的な変化を検討する
- (3) 関係者の事業の進め方に対する認識を確認し、今後の進め方を検討する
- (4) 住民アンケートを実施し、事業の進め方、実施体制を検討する。
- (5) 評価の実施方法

4 評価実施上の注意点

- (1) 測定時の実施上の主観性について
- (2) 測定の目的について
- (3) マニュアルの作成について

5 健康増進事業のチェックリストによる評価

- (1) 地域住民のニーズ把握、市町の健康増進計画及び健康づくりのための重点目標との関連
- (2) 健康手帳の交付
- (3) 個別健康教育
- (4) 集団健康教育
- (5) 重点健康相談
- (6) 総合健康相談
- (7) 健康診査
- (8) 健康診査（がん検診）
- (9) 機能訓練
- (10) 訪問指導
- (11) その他（他事業との連携）

6 住民へのアンケート調査による評価

- (1) 健康手帳の交付
- (2) 健康教育
- (3) 健康相談
- (4) 健康診査

7 結果の活用について

健康増進チェックリスト

健康手帳のアンケートの例

健康教育のアンケートの例

健康相談のアンケートの例

健康診査のアンケートの例

別表 結果の総括



はじめに

健康増進事業（平成19年までは老人保健事業）は、昭和57年以降20年以上もの長期にわたり、生活習慣病予防等により健康寿命の延伸に重要な役割を担ってきた疾病の予防からリハビリテーションに至る総合的な事業で、市町の保健事業の根幹となる事業である。

健康増進事業については、介護保険法、高齢者の医療の確保に関する法律等に基づいても保健事業の整備がされる中で、より効果的・効率的な事業を展開するために評価・検討を加えながら事業を実施する必要がある。

そこで、健康増進事業に係る事業評価マニュアルを作成し、「健康づくり事業」を推進していくにあたって健康増進事業が不可欠であることを明確にし、効果判定等行いこれまで以上に効果的な事業展開を図ることとする。

1 健康増進事業評価の目的

活動評価の目的は、事業や活動が目的に向かってうまく進んでいるかどうかを検討し、よりよい進め方を探すことである。その際「うまく進む」ということをどのような視点で捉えるかによって、現在の状況を測定する方法や対象が異なってくる。

健康増進事業の評価にあっては、市町の策定した健康増進計画に掲げる目標項目の達成や改善に向けた事業となっているか、また、健康づくりのための重点目標を到達する上でどのような役割を担っているか、関係機関同士の連携による総合的なサービスが提供できているか、地域住民の健康に関する行動が変化してきているかを意識しながら取り組むべきである。

本マニュアルでは、①市町の事業の実施体制の点検、②住民の「事業の活用度」及び「行動変容」を用いて、健康増進事業の進め方を評定し、よりよい進め方を検討することとする。

2 健康増進事業の評価の概要



「健康増進事業チェックリスト」で市町の事業の実施体制の点検を行い、「住民アンケート」で住民の事業の満足度、活用度及び行動変容があつたかどうかを見る。

さらに、各市町の健康増進計画の目標値、各市町の重点目標の達成に向けて、特定健診・特定保健指導や介護保険事業との連携を図りながら、「生活習慣病予防」「健康づくり」に向けて健康増進事業が果たす役割について検討する。

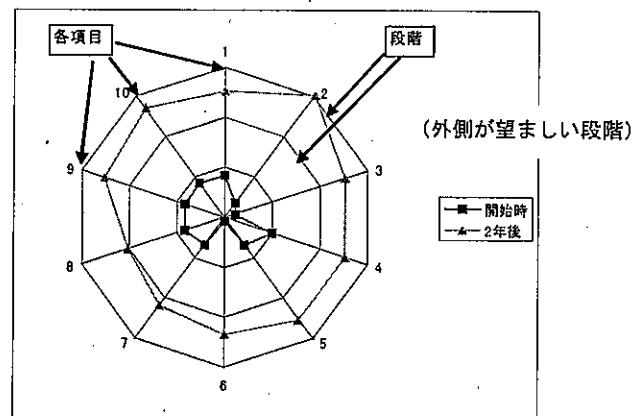
3 評価の方法

(1) 事業の進め方を認識する

実施している事業について、「健康増進事業チェックリスト」を用いて、各項目ごとに進めている状況の該当する段階を選択する。

該当の段階をレーダーチャートに表してみることで、自分たちの進め方の実態を視覚的に確認することができる。

レーダーチャートに段階を転載する際、パーセ



ンテージで記載する。つまり、4段階まである項目でチェックしたのが3段階であれば、3/4で75%となる。

(2) 事業の進め方の経時的な変化を検討する

進め方の状況を現在、翌年、2~3年後、さらに数年経過した後のように経時的にチェックすることで、その事業の進め方の改善状況を検討することができる。また、改善がうまく進まない部分を視覚的に確認し、検討の資料とすることができる。

(3) 関係者の事業の進め方に対する認識を確認し、今後の進め方を検討する

事業の進め方の現状を関係者がそれぞれチェック・比較してみて、結果の違いについてその理由を検討することで認識の違いを確認し、調整して事業目的や進め方を検討・共有することができる。

事業の進め方について、現在の状況や経時的な変化、関係者の認識などを確認し、達成すべき目標に向けて今後の進め方を具体的に検討することができる。

(4) 住民アンケートを実施し、事業の進め方、実施体制を検討する

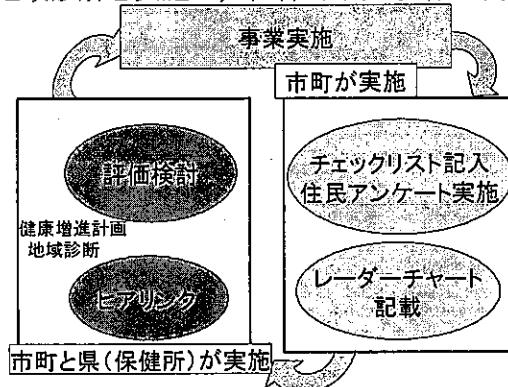
直接住民にアンケートをとり、住民の事業の満足度、活用度及び行動変容を把握する。事業の取り込みを直接測定することで単なる行政側の自己評価のみではなく、一つの指標としてとらえ、検討の資料とする。

住民アンケートの実施時期、対象者については、健康増進事業を評価するにあたって適当と判断される範囲で各市町が設定する。

アンケートは、住民の行動変容や健康観の変化の状況から事業の効果を評価することを目的とし、本マニュアルで示す様式以外で既に市町で実施しているものがある場合は、それを活用してもよい。ただし、「結果の総括」にある健康手帳の交付の2の項目、健康教育の3、4の項目、健康相談の3、4の項目、健康診査のアンケート3の項目は要となる項目であり、省略はできないものとする。集計について、健康手帳の交付は、活用群と非活用群に、健康教育、健康相談、健康診査は改善群、維持群にカテゴリ分けして集計する。なお、「健康教育」、「健康相談」、「健康診査」など住民にとって聞きなれない表現については、各市町の状況に合わせて変更しても差し支えないものとする。

(5) 評価の実施方法

事業実施→チェックリスト・住民アンケートの実施→評価検討→事業実施のサイクルで事業全体を見直しながら、次へのステップアップをねらって事業展開をするが、市町が主体となってチェックリスト記入と住民アンケートを実施し、保健所は、各市町が「効果的・効率的な事業を展開できる」よう技術的助言を行う。また、圏域ごとの健康増進計画と照らし合わせながら地域診断を実施し、総合的な健康増進事業の評価について、検討する。



4 評価の実施上の注意点

(1) 測定時の主観性について

チェックリストは、今行われている事業の進め方を測定するためのツールであるが、測定者の主観が入ってしまいがちである。

チェック時には、なぜこの段階と判断したのかという判定の根拠とした具体的な状況や様子を記録しておく必要がある。また、記録により、測定者が変わっても同じような判断をすることが可能となる。

(2) 測定の目的について

測定者の主観や地域特性などの影響もあり、他の地域との比較ができるものではない。あくまでも、ある一つの地域でのある活動を経時に測定することによって「この進め方でよいのか」「どこをどうするべきなのか」ということを検討するために用いる。

(3) マニュアルの作成について

各市町で行われる事業には、それぞれ目的があり、また、背景は地域や時代によって異なる可能性があり、必要に応じて改変すべきである。県内一律は、あり得なく、各市町の活動にあてはまらない項目もあると考えられる。

各市町の地域性や社会資源の状況により、健康増進事業の目的や内容は異なっているため、本マニュアルを参考に、それぞれの市町に応じたマニュアルの作成が望ましい。

5 健康増進事業チェックリストによる評価

(1) 地域住民のニーズ把握、健康増進計画及び健康づくりのための重点目標との関連

【地域住民のニーズ把握】

1 住民ニーズを定期的に把握していますか

2 住民ニーズをどのように把握していますか

【健康増進計画との関連】

3 市町の健康増進計画の目標達成のために、健康増進事業を推進していますか

【健康づくりのための重点目標の設定及び達成】

4 市町の健康づくりのために重点目標を設置していますか

5 重点目標の達成のために健康推進事業を推進していますか

(2) 健康手帳の交付

6 健康手帳を交付していますか

7 手帳の交付に際して、その目的や活用方法について保健師などの専門職が説明していますか

8 説明内容は、どのようなものですか

9 手帳の活用状況を把握していますか

10 特定健診・保健指導の記録等を記載していますか

(3) 個別健康教育

11 個別健康教育を実施していますか

12 個別健康教育の企画にあたって連携をしていますか

13 個別健康教育に参加しやすい場の設定をしていますか

14 個別健康教育の対象者の知識、生活習慣行動について実施前後の変化を検討し、健康教育

の効果を評価していますか

15 個別健康教育の対象者について長期的（約1年以上）に行動変容の追跡調査を実施していますか

(4) 集団健康教育

16 集団健康教育の年間計画を策定していますか

17 地域の健康課題を考慮していますか

18 事業計画の策定にあたって、あらかじめ結果を評価するための指標や当面の目標を設定していますか

19 集団健康教育の企画にあたって連携をしていますか

20 集団健康教育に参加しやすい場、時間の設定をしていますか

21 集団健康教育の効果を評価しその後の事業に活用していますか

(5) 重点健康相談

22 重点健康相談を実施していますか

23 参加しやすい場所、時間で実施するよう配慮していますか

24 関係機関との連携を取りながら実施していますか

25 健康相談についてどのように指導したか個人記録が残っていますか

26 健康相談を受けた者の満足度を調査し、改善に活用していますか

(6) 総合健康相談

27 総合健康相談を実施していますか

28 参加しやすい場所、時間で実施するよう配慮していますか

29 健康相談室など設置され、健康に係わる様々な問題について、誰もが気軽に相談できる体制が整備されていますか

30 対象者の相談結果の活用をしていますか

31 対象者の相談内容などを記録し、評価を行っていますか

32 健康相談を受けた者の満足度を調査し、改善に活用していますか

(7) 健康診査

33 健康診査は実施していますか

35 実施計画は周知していますか

36 受診しやすい場所時間で実施するよう配慮していますか

37 健診にかかる時間を短縮する工夫を行っていますか

38 実施計画の策定及び運営はどのように行われていますか

39 受診率について、市町の目標を設定していますか

40 未受診者の未受診理由の把握を行っていますか

41 健康診査後の評価を行っていますか

42 健康診査の受託医療機関から健康診査の結果とともに、受診者の受診歴等の情報が得られていますか

43 健康診査結果は速やかに受診者に通知されていますか

(8) 健康診査（がん検診）

44 がん検診を実施していますか

45 対象者の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成していますか

46 対象者に均等に受診勧奨を行っていますか

47 未受診者に対し、受診勧奨を行っていますか

- 48 過去3年間の受診歴を記録していますか
- 49 要精検率を把握していますか
- 50 精検未受診者に精検の受診勧奨を行っていますか
- 51 がん発見率を把握していますか
- 52 がん検診の精度管理をがん対策を連携して実施している
- 53 それぞれのがん検診の受診率は何%ですか

(9) 機能訓練

- 54 機能訓練を実施しているか
- 55 機能訓練を必要とする者の把握は整備されていますか
- 56 実施施設の環境は整備されていますか
- 57 機能訓練の効果などを勘案して継続の可否の判定を行っていますか
- 58 機能訓練終了時において、対象者の状況に応じて保健事業や福祉サービスなどとの連携が図られていますか

(10) 訪問指導

- 59 訪問指導を実施しているか
- 60 訪問指導の対象者をどのように把握していますか
- 61 訪問指導計画は策定していますか
- 62 訪問指導にあたって、かかりつけ医や各関係機関との協力体制が得られていますか
- 63 訪問指導が計画策定されてから初回訪問までに要する期間はどれくらいですか
- 64 訪問指導を受けた対象者やその家族について、事業内容に対する満足度を調査していますか
- 65 訪問指導の内容などが記録され、その後の事業に活用できるように整備されていますか

(11) その他（他の事業との連携）

- 66 国保等保険事業（特定健診・特定保健指導、国保ヘルスアップ事業）、介護保険事業と連携を取りながら、事業を企画していますか
- 67 国保等保険事業（特定健診・特定保健指導、国保ヘルスアップ事業）、介護保険事業と連携を取りながら、事業の効果を評価していますか

6 住民へのアンケート調査による評価

住民の行動変容や健康観の変化の状況から事業の効果を評価することを目的とし、本マニュアルで示す様式以外で既に市町で実施しているものがある場合は、それを活用してもよい。

ただし、次の項目の太字で表した項目（「結果の総括」にある健康手帳の交付の2の項目、健康教育の3、4の項目、健康相談の3、4の項目、健康診査のアンケート3の項目）は要となる項目であり、省略はできないものとする。

また、「健康教育」、「健康相談」、「健康診査」など住民にとって聞きなれない表現については、変更しても差し支えない。

(1) 健康手帳の交付

- ① あなたは、健康手帳を持っていますか。
- ② 健康手帳をどのように使っていますか。
- ③ 健康手帳に関して、何か要望がありますか。

(2) 健康教育

- ① 市町が「健康教育」を実施しているのを知っていますか

- ② 市町の実施する「健康教育」へ行ったことがありますか
- ③ 「健康教育」は、役に立ちましたか
- ④ 「健康教育」がきっかけで、生活が変わったことがありますか
- ⑤ 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

(3) 健康相談

- ① 市町が「健康相談」を実施しているのを知っていますか
- ② 市町の実施する「健康相談」へ行ったことがありますか
- ③ 「健康相談」は、役に立ちましたか
- ④ 「健康相談」がきっかけで、生活が変わったことがありますか
- ⑤ 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

(4) 健康診査

- ① 市町が「健康診査」を実施しているのを知っていますか
- ② 市町の実施する「健康診査」へ行ったことがありますか
- ③ 結果通知を見て、生活を見直していますか
- ④ 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

7 評価の活用について

地域住民の生活習慣病予防と健康づくりがより向上することを目指し、健康増進計画、各市町が設定した重点目標と関連させ、事業を推進することが原則である。各市町では、このチェックリスト等を用いて健康増進事業の評価を実施し、前の年よりは次の年の方がよい段階に進展できるよう常に見直しをしながら事業を進めていく。また、別表「結果の総括」を作成し、保健所は、「結果の総括」に基づき各市町が「効果的・効率的な事業を展開できる。」よう技術的助言を行う。さらに、圏域ごとの健康増進計画と照らし合わせながら地域診断を実施し、総合的な健康増進事業の評価について、検討する。

【参考】基礎資料

- (1) 人口
- (2) 年齢構成
- (3) 地域特性、医療・健康増進に関する施設等
- (4) 健康増進計画
- (5) 後期高齢者保険診療費

健康増進事業チェックリスト

市町名	
担当課・担当者	
記入者	年 月 日

(地域住民のニーズ把握)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
1	住民ニーズを定期的に把握していますか	1 把握していない ⇒2は回答不要		住民ニーズを定期的に把握しているか
		2 不定期ではあるが、ニーズを把握している		
		3 定期的に把握している		
2	住民ニーズをどのように把握していますか	1 参加状況や統計データにより把握している		住民ニーズをどのように把握しているか
		2 ニーズ調査を行っている		
		3 ニーズ調査や統計データ、専門家の意見など多様な情報を分析し把握している		

(健康増進計画との関連)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
3	市町の健康増進計画の目標達成のために、健康増進事業を推進していますか	1 健康増進計画はあるが、健康増進事業と関連付けて考えていない		健康増進計画の目標値達成のための一つの方法として健康増進事業を実施、評価しているか
		2 目標値を意識しながら健康増進事業を実施しているが、評価を事業に生かすことができていない		
		3 目標値を常に意識しながら健康増進事業を実施しており、常に評価をしながら事業を運営している		

(重点目標の設定及び達成)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
4	市町の健康づくりのために重点目標を設置していますか	1 重点目標を設置していない ⇒5は回答不要		重点目標を設定しているか
		2 重点目標を設置している		
5	重点目標の達成のために健康推進事業を推進していますか	1 重点目標はあるが、健康増進事業と関連付けて考えていない		健康増進計画の目標値達成のための一つの方法として健康増進事業を実施、評価しているか
		2 重点目標を意識しながら健康増進事業を実施しているが、評価を事業に生かすことができない		
		3 重点目標を常に意識しながら健康増進事業を実施しており、常に評価をしながら事業を運営している		

(健康手帳の交付)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
*6	健康手帳を交付していますか	1 交付していない。 ⇒7~10は回答不要		
		2 交付している。		
7	手帳の交付に際して、その目的や活用方法について保健師などの専門職が説明していますか	1 特に説明は行っていない。 ⇒8は回答不要		手帳の目的や使い方を様々な方法で説明しているかを判定する。
		2 説明用の文書を添付している。		
		3 時々保健師などの専門職が説明している。		
		4 必ず保健師などの専門職が説明している。		
8	説明内容は、どのようなものですか	1 「健康増進法で40歳以上の者が交付対象になっている。」と説明している		具体的な活用方法について説明しているかを判定する
		2 使い方を説明している		
		3 結果説明会や医療機関等での使い方と日々の健康管理にどのように役立つか具体的に説明している		
9	手帳の活用状況を把握していますか	1 活用状況を把握していない		手帳が住民の生活習慣改善に生かされているかを判定する
		2 記入されているだけで、これを見返すことはない人が多い		
		3 自分の健康状態を把握するように心がけている人が多い		
		4 日々の記録を基に市町や医療機関に相談するなどの活用をしている人が多い		
10	手帳を配布された住民が特定健診・保健指導の記録等を記載していますか	1 記録していない		特定健診・特定保健指導との連携、また、手帳が住民の生活習慣改善に生かされているかを判定する
		2 時々記録している		
		3 必ず記録している		

*レーダーチャートにデータを入れない

(個別健康教育)

No.	項目	段階	評価	評価の視点
*11	個別健康教育を実施していますか	1 現在実施していないし、導入する計画もない。 ⇒12~15の回答不要		1. 2の実施していない理由⇒
		2 現在は実施していないが、導入は計画している。 ⇒12~15の回答不要		
		3 一部について実施している。(該当するものに○: 高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙者)		3. 4の対象者の選定方法⇒(例)検診結果から抽出等
		4 高血圧・脂質異常症・糖尿病・喫煙者の4領域について実施している。		
12	個別健康教育の企画にあたって連携をしていますか	1 事業担当者のみで企画を行っている		企画運営にあたり、関係機関の協力は得られているか
		2 企画に関して、所属課内で話し合うが、他機関との協力体制は全くない		
		3 必要に応じて、他機関へ相談している		
		4 医療機関や他の関係機関と話し合いながら個別健康教育の企画を行う		
13	個別健康教育に参加しやすい場、時間の設定をしていますか	1 行政側の都合で設定している		
		2 開催場所や日時について住民の要望を聞いたり、参加状況を配慮して設定している		
14	個別健康教育の対象者の知識、生活習慣行動について実施前後の変化を検討し、健康教育の効果を評価していますか	【健康教育の実施前後における変化を】		評価方法⇒
		1 検討、効果の評価は行っていない。		
		2 検討しているが、効果は評価していない。		
		3 検討することがある。概ね検討結果に基づいて効果を評価している。		
		4 必ず検討し、検討結果に基づいて評価している。		
15	個別健康教育の対象者について長期的(約1年以上)に行動変容の追跡調査を実施していますか	1 追跡調査を実施する計画はない。		行動変容を評価の指標にして評価しているか 調査方法⇒
		2 追跡調査が可能な体制を整備する計画がある。		
		3 実施可能な体制が整備されているが、現在は追跡調査を実施していない。		
		4 行動変容の追跡調査を実施している。		

*レーダーチャートにデータを入れない

(集団健康教育)

No.	項目	段階	評価	評価の視点
*16	集団健康教育の年間計画を策定していますか	1 策定していない。 ⇒17~21は回答不要 2 策定している。	策定していない理由⇒ 計画内容(実施事項・時期を含む)⇒	地域の健康課題を考慮しているか
17	地域の健康課題を考慮していますか	1 地域の健康課題を検討せず、前年と同じスケジュール等で企画する。 2 地域の健康課題を検討しているが、企画に反映していない。(新規企画や重点を置くことはない) 3 地域の健康課題を検討し、対象者や内容を重点化している		
18	事業計画の策定にあたって、あらかじめ結果を評価するための指標や当面の目標を設定していますか	1 事業計画の当面の目標は設定していない。 2 すべての事業計画について、当面の目標が設定されているが数値化されていない。 3 一部の事業計画について、当面の目標が設定され、数値化が可能な事項は目標値が設定されている。 4 すべての事業計画について、当面の目標が設定され、数値化が可能な事項は目標値が設定されている。	目標⇒ 目標値⇒	企画運営にあたり、関係機関の協力は得られているか
19	集団健康教育の企画にあたって連携をしていますか	1 企画に関して、所属課内で話し合うが、他機関との協力体制は全くない 2 関係部署の事業担当者のみで企画を行っている 3 必要に応じて、他機関へ相談している 4 医療機関や他の関係機関と話し合いながら個別健康教育の企画を行う		
20	集団健康教育に参加しやすい場、時間の設定をしていますか	1 行政側の都合で設定している 2 開催場所や日時について住民の要望を聞いたり、参加状況を配慮して設定している		
21	集団健康教育の効果を評価しその後の事業に活用していますか	1 まったく効果の評価は行っていない。 2 効果の評価を十分に行っていない。 3 必ず効果を評価しているが、結果を必ずしもその後の事業に活用していない。 4 必ず効果を評価し、結果をその後の事業に活用している。	評価の方法⇒ 評価結果⇒ 活用例⇒	

*レーダーチャートにデータを入れない

(重点健康相談)

No.	項目	段階	評価	評価の視点
*22	重点健康相談を実施していますか	1 現在実施していないし、導入する計画もない。 ⇒23~26は回答不要		1・2の実施していない理由⇒
		2 現在は実施していないが、導入は計画している。 ⇒23~27は回答不要		3、4の対象者の選定方法⇒
		3 一部について実施している。 3(該当するものに○:高血圧・脂質異常症・糖尿病・歯周疾患・骨粗鬆症・女性の健康・病態別)		
		4 高血圧・脂質異常症・糖尿病・歯周疾患・骨粗鬆症・女性の健康・病態別の7領域について実施している。		
23	参加しやすい場所、時間で実施するよう配慮していますか	1 行政の都合で設定し、相談者が選択できない。 2 相談者が利用しやすいように様々な会場、時間で開催されている。		
24	関係機関との連携を取りながら実施していますか	1 連携をしていない。 2 必要に応じて他部署や関係機関(他機関)に紹介するなどの連携をしている。 3 関係機関と定期的情報交換や検討をし、調整を図るなどの連携をしている。		企画運営にあたり、関係機関の協力は得られているか
25	健康相談についてどのように指導したか個人記録が残っていますか	1 記録されていない。 2 必要な人だけ記録を残している。 3 個人の記録がそれぞれに整理されている。		個人記録を残しているか
26	相談の実施前と後を比較して自己管理や生活習慣などの改善の程度を把握・評価していますか	1 事例の把握を行っていない。 2 事例は把握しているが評価を行っていない。 3 一部の事例のみ、把握し評価を行っている。 4 すべての事例について把握し、評価を行っている。		評価の方法⇒ 評価結果⇒

(総合健康相談)

No.	項目	段階	評価	評価の視点
*27	総合健康相談を実施していますか	1 実施している		対象者の選定方法⇒
		2 実施していない ⇒ 28~32は回答不要		実施していない理由⇒
28	参加しやすい場所、時間で実施するよう配慮していますか	1 行政の都合で設定し、相談者が選択できない。 2 相談者が利用しやすいように様々な会場、時間で開催されている。		
		1 健康相談室はない。 2 共有の健康相談室などで相談を受けることができる。 3 専用の健康相談室などは設けられているが、相談できる日時が限られている。 4 専用の健康相談室などが設けられ、休日も含めいつでも相談を受けることができる		誰もが気軽に相談できる体制が整備されているか
		1 簿記していない。 2 簿記はしているが、活用していない。 3 相談後、必要に応じ、面接、家庭訪問による対応ができる体制がある(個人へのフィードバック) 4 相談の傾向を分析し、事業の企画に反映している。(事業へのフィードバック)		相談の傾向を分析し、事業の企画に反映している。(事業へのフィードバック)
		1 記録をとっていない 2 一定の記録様式は定めていないが、記録・評価を行っている 3 相談内容を一定の様式に従って記録しているが、評価を行っていない 4 すべての相談内容を一定の様式に従って記録し、評価を行っている。		評価の方法⇒ 評価結果⇒
32	対象者の相談を受けた者の満足度を調査し、改善に活用していますか	1 満足度は調査していない 2 満足度等を調査することはあるが、完全に活かしていない 3 時々満足度を調査し、改善に活かしている。 4 必ず満足度を調査し、改善に活かしている。		満足度調査の方法⇒ 結果⇒ 活用方法⇒

*レーダーチャートにデータを入れない

(健康診査)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
*33	健康診査を実施していますか	1 実施していない。 ⇒34~43は回答不要		実施していない理由⇒
		4領域の一部について実施している。 2 (該当するものに○) : 基本健康診査、歯周疾患検診、肩粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査		
		3 基本健康診査、歯周疾患検診、肩粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査の4領域について実施している。		
34	対象者数の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成していますか	1 作成していない		⇒作成していない理由
		2 作成している		⇒作成している場合 (どれかに○) 紙台帳・パソコンファイル・外部委託
35	実施計画は周知していますか	1 一般的な広報のみを行っている。(個別通知を行っていない)		
		2 一般広報に加え、個別通知を行っている。		
		3 一般広報と個別通知に加え、健康教育や訪問などの機会を通して、周知している。		周知方法⇒
36	受診しやすい場所、時間で実施するよう配慮していますか	1 行政の都合で設定し、受診者が選択できない。		
		2 身近な場所、受けやすい時間を設定している。		
37	健診にかかる時間を短縮する工夫をしていますか	1 工夫していない。		
		2 人員を増やすなどの工夫をしている。		工夫⇒
38	実施計画の策定及び運営はどのように行われていますか	1 担当者に一任されている。		
		2 実施計画の策定にあたって、特に外部関係者との調整は行っていない。		
		3 実施計画の策定にあたって、常置委員会はないが、医師会・受託医療機関の関係者などと調整を行うための会議を開催している。		企画運営にあたり、関係機関の協力は得られているか
		4 実施計画の策定にあたって、医師会・受託医療機関の関係者を集めた常置委員会で、毎年検討している。		
39	受診率について、市町の目標を設定していますか	1 設定していない。		
		2 設定している。		目標率⇒
40	未受診者の未受診理由の把握を行っていますか	1 把握していない。		
		2 把握している。		把握方法⇒
41	健康診査後の評価を行っていますか	1 未受診者率を把握していないまたは年次推移を確認していない。		
		2 数字の比較のみで評価を行っている。		評価方法⇒
		3 数字以外の様々な要因を比較・検討している。		評価結果⇒
42	健康診査の受託医療機関から健康診査の結果とともに、受診者の受診歴等の情報が得られていますか	1 個別の健康診査情報の内容を把握していない。		
		2 受託医療機関から、受診者の健康診査結果だけを得ている。		
		3 受託医療機関から、受診者の関連情報を日々得ている。		
		4 受託医療機関から、受診者の関連情報を必ず得ている。		
43	健康診査結果は速やかに受診者に通知されていますか	1 異常者のみ結果を通知し、正常者には結果を通知していない。		
		2 結果を通知するのに受診後1ヶ月以上かかる。		
		3 一部の結果は受診後1ヶ月以内に通知されている。		
		4 受診後、すべて1ヶ月以内に通知されている。		

*レーダーチャートにデータを入れない

(健康診査・がん検診)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
*44	がん検診を実施していますか	1 実施していない。 ⇒45~53は回答不要		実施していない理由⇒
		2 一部について実施している。 (該当するものに○: 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)		
		3 胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんすべてについて実施している。		
45	対象者数の網羅的な名簿を住民台帳に基づいて作成していますか	1 作成していない		⇒作成していない理由
		2 作成している		⇒作成している場合 (どれかに○) 紙台帳・パソコンファイル・外部委託
46	対象者に均等に受診勧奨を行っていますか	1 一般的な広報のみを行っている。(個別通知を行っていない)		周知方法⇒
		2 世帯通知を行っている。		
		3 個別通知を行っている。		
47	未受診者に対し、受診勧奨を行っていますか	1 行っていない		
		2 未受診者に対し、対象者全員へ年度内に再度の受診勧奨を個別に行っている		
48	過去3年間の受診歴を記録していますか	1 1~2年分のみ、あるいは、記録をしていない		
		2 記録している		
49	要精検率を把握していますか	1 把握していない		全ての委託医療機関からデータ提供を受け、市町としての要精検率を把握する
		2 把握している(外部機関からの情報提供を含む)		
50	精検未受診者に精検の受診勧奨を行っていますか	1 行っていない		
		2 広報やチラシにより行っている		
		3 精検未受診者全員に個別に勧奨している (委託先が行っており、その情報提供を受けている場合を含む)		
51	がん発見率を把握していますか	1 把握していない		
		2 把握している(外部機関からの情報提供を含む)		
52	がん検診の精度管理をがん対策と連携しながら実施していますか	1 実施していない。		
		2 実施している		
*53	それぞれのがん検診の受診率は何%ですか	1 胃がん⇒		
		2 肺がん⇒		
		3 大腸がん⇒		
		4 子宮がん⇒		
		5 乳がん⇒		

*レーダーチャートにデータを入れない

(機能訓練)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
*54	機能訓練を実施しているか	<p>1 実施していない。 ⇒ 55~58的回答不要</p> <p>2 実施している。</p>		実施していない理由⇒ 実施内容⇒
55	機能訓練を必要とする者の把握は整備されていますか	<p>1 情報提供はなく、積極的な収集もしていない。</p> <p>2 情報収集が困難であるため、十分な把握はできない。</p> <p>3 おおむね把握されているが、収集される情報が限定されてしまい、連絡が遅いなどの問題点もある。</p> <p>4 システムの確立や連絡網の整備などにより、早期に確実な把握が可能である。</p>		
56	実施施設の環境は整備されていますか	<p>1 環境、設備とも事業の実施に支障をきたしており、事業の実施が困難である。</p> <p>2 環境、設備とも整備されているとはいえないが、事業の実施は可能である。</p> <p>3 地域住民との交流が得にくい環境にあるが、設備や備品はおおむね整備されている。</p> <p>4 だれもが利用しやすい環境を十分に満たしている。設備や備品も整備されており、安全性や活動性が確保されている。</p>		
57	機能訓練の効果などを勘案して継続の可否の判定を行っていますか	<p>1 効果などを勘案した継続要否判定は行っていない。</p> <p>2 一部の対象者について、効果などを勘案した一定期間ごとの判定を行っている。</p> <p>3 すべての対象者について、効果などを勘案した一定期間ごとの判定を行っている。</p> <p>4 すべての対象者について、一定期間ごとの継続要否に加え、対象者の変化に応じて随時見直しを行っている。</p>		
58	機能訓練終了時において、対象者の状況に応じて保健事業や福祉サービスなどとの連携が図られていますか	<p>1 他の保健事業や福祉サービスとの連携は図っていない。</p> <p>2 他の保健事業や福祉サービスとの連携は図っているが、対象者の状況に応じているとはいえない。</p> <p>3 対象者の状況に応じ、適切なサービスが提供されるよう図られているが十分とはいえない。</p> <p>4 対象者の状況に応じ、適切なサービスが継続して提供されている。</p>		

*レーダーチャートにデータを入れない

(訪問指導)				
No.	項目	段階	評価	評価の視点
*59	訪問指導を実施しているか	1 実施していない。 ⇒60～65は回答不要 2 実施している。	実施していない理由⇒ 対象者の選定方法⇒	
60	訪問指導の対象者をどのように把握していますか	1 本人及び家族からの相談のみを対象としている。 2 本人及び家族からの相談に加えて活用可能な情報の一部を収集して対象者を把握している。 3 本人及び家族からの相談に加えて保健事業実施に伴う情報や関係機関などから幅広く情報を収集して対象者を把握している。 4 組織の方針があり、明文化されている。		
61	訪問指導計画は策定していますか	1 計画は策定していない。 2 計画は策定していないが、重点は決めている。 3 重点は決めていないが毎年策定している。 4 重点を決めて毎年策定している。	重点⇒	
62	訪問指導にあたって、かかりつけ医や各関係機関との協力体制が得られていますか	1 連携は図っていない。 2 会合はなく担当者が個人単位連携を図っている。 3 会合はあるが、随時連携可能であるとはいえない。 4 定期的な会合があり、随時連携可能な体制が整っている。		
63	訪問指導が計画策定されてから初回訪問までに要する期間はどれくらいですか	1 担当者が訪問するまでに1ヶ月以上要している。 2 担当者が1ヶ月以内に訪問している。 3 担当者が2週間以内に訪問している。 4 担当者が1週間以内に訪問している。	計画された時期と実際の差を見る	
64	訪問指導を受けた対象者やその家族について、事業内容に対する満足度を調査していますか	1 対象者とその家族に対して満足度は調査していない。 2 一部の対象者とその家族に対して満足度は調査していない。 3 すべての対象者とその家族に満足度を調査し、その結果を分析しているが、事業の見直しなどは行っていない。 4 すべての対象者とその家族に満足度を調査し、その結果を分析して事業の見直しなどの活用している。		
65	訪問指導の内容などが記録され、その後の事業に活用できるように整備されていますか	1 訪問指導の内容について対象者ごとに整理されていない。 2 一部の訪問指導の内容について対象者ごとに整理されている。 3 すべての訪問指導の内容について対象者ごとに整理されている。 4 すべての訪問指導の内容について対象者ごとに整理され、十分に活用されている。	満足度調査の方法⇒ 結果⇒ 活用方法⇒	個人記録があとでも活用できるように整理されているかを判定する

*レーダーチャートにデータを入れない

(他の事業との連携)

No.	項目	段階	評価	評価の視点
66	国保等保健事業(特定健診特定保健指導, 国保ヘルスアップ事業), 介護保健事業と連携を取りながら事業を企画している	1 連携していない		⇒連携していない理由
		2 担当者レベルで連携を取り, 事業を企画している		
		3 関係課を召集した会議を行うなど, 連携を十分取りながら事業を企画している		
67	国保等保健事業(特定健診特定保健指導, 国保保健事業, 国保ヘルスアップ事業), 介護保健事業と連携を取りながら事業の効果を評価している	1 連携していない		⇒連携していない理由
		2 担当者レベルで連携を取り, 事業の効果を評価している		
		3 関係課を召集した会議を行うなど, 連携を十分取りながら事業の効果を評価している		

健康手帳の交付に関するアンケートの例

※「2 健康手帳をどのように使っていますか」は、必須項目

1 あなたは、健康手帳を持っていますか 1 持っている

2 持っていない ⇒ アンケートは終了です

2 健康手帳をどのように使っていますか 1 日々の検査データを記録し、気になることがあれば、市町やかかりつけ医に相談している

2 日々の検査データを記録するよう心がけている

3 健診の記録のみしている

4 持っているだけで、使っていない

3 健康手帳に関して、何か要望がありますか



健康教育に関するアンケートの例

※「3 役に立ちましたか」「4 生活が変わったことがありますか」は、必須項目

1 市町が「健康教育」を実施しているのを知っていますか 1 知っている

2 知らない ⇒ 2, 3, 4, 5の質問には、回答不要

2 市町の実施する「健康教育」へ行ったことがありますか 1 行ったことがある

2 行ったことはない ⇒ 3, 4, 5の質問には、回答不要

3 「健康教育」は、役に立ちましたか

1 役に立った

【どのようなところが役に立ちましたか】

- ① 知識を得ることができた
- ② 知識を得、自分の生活を見直すことができた
- ③ 血圧値が改善した
- ④ 血糖値が改善した
- ⑤ その他 []

ある程度予測される回答について、選択肢を設ける。選択肢を設けることにより、数量での分析が可能となる。

2 役に立たなかった

4 「健康教育」がきっかけで、生活が変わったことがありますか

1 ある

- ① ウォーキング、水泳などの運動を始めた。
- ② 食生活を気を付けるようになった
- ③ 新聞、雑誌などで健康に関する記事を読むようになった
- ④ 禁煙した
- ⑤ 禁酒あるいは、節酒した
- ⑥ その他 []

ある程度予測される回答について、選択肢を設ける。選択肢を設けることにより、数量での分析が可能となる。

2 ない

5 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

[]

健康相談に関するアンケートの例

※「3 役に立ちましたか」「4 生活が変わったことがありますか」は、必須項目

1 市町が「健康相談」を実施しているのを知っていますか 1 知っている

2 知らない ⇒ 2, 3, 4, 5の質問には、回答不要

2 市町の実施する「健康相談」へ行ったことがありますか 1 行ったことがある

2 行ったことはない ⇒ 3, 4, 5の質問には、回答不要

3 「健康相談」は、役に立ちましたか 1 役に立った

【どのようなところが役に立ちましたか】

- ① 困っていること、悩みが解決した
- ② 知識を得ることができた
- ③ 知識を得、自分の生活を見直すことができた
- ④ 血圧値が改善した
- ⑤ 血糖値が改善した
- ⑥ その他 []

ある程度予測される回答について、選択肢を設ける。選択肢を設けることにより、数量での分析が可能となる。

2 役に立たなかった

4 「健康相談」がきっかけで、生活が変わったことがありますか

1 ある

- ① ウォーキング、水泳などの運動を始めた。
- ② 食生活を気をつけるようになった
- ③ 新聞、雑誌などで健康に関する記事を読むようになった
- ④ 病院を受診することにした
- ⑤ 禁煙した
- ⑥ 禁酒あるいは、節酒した
- ⑦ その他 []

ある程度予測される回答について、選択肢を設ける。選択肢を設けることにより、数量での分析が可能となる。

2 ない

5 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

[]

健康診査に関するアンケートの例

※「4 結果通知を見て、生活を見直していますか」は、必須項目

1 市町が「健康診査」を実施しているのを知っています
か 1 知っている

2 知らない ⇒ 2, 3, 4, 5の質問には、回答不要

2 市町の実施する「健康診査」へ行ったことがあります
か 1 行ったことがある

2 行ったことはない ⇒ 3, 4, 5の質問には、回答不要

3 「健康診査」へこれまで、何回行ったことがありますか 1 年1回は、必ず行っている

2 以前行ったことはあるが、最近は行っていない。

なぜ、健康診査へ行かなくなったのですか

① 健康なので、健診を受ける必要がないから

② 健診結果がいつも同じだから

③ 健診結果を見るのが怖いから

④ 健診結果、「要医療」、「要精検」、「要指導」が出るの
がいやだから

⑤ その他

4 結果通知を見て、生活を見直していますか 1 見直している

2 健診を受けるが、生活を変えようと思っていない

↓
それはなぜですか
可能であれば、ある程度予
測される選択肢を設ける。

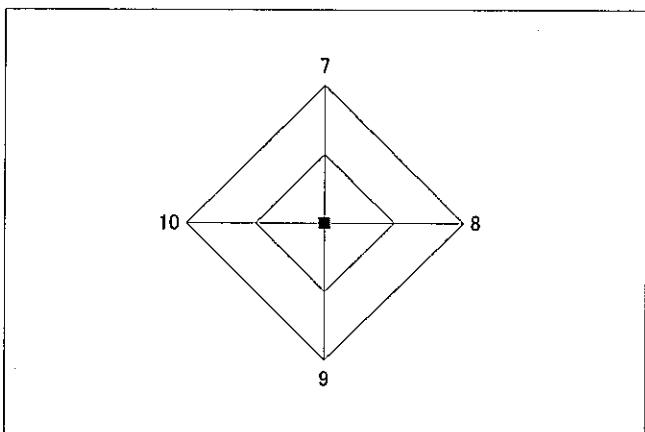
5 開催時間帯や開催場所についての希望など、要望がありますか

[]

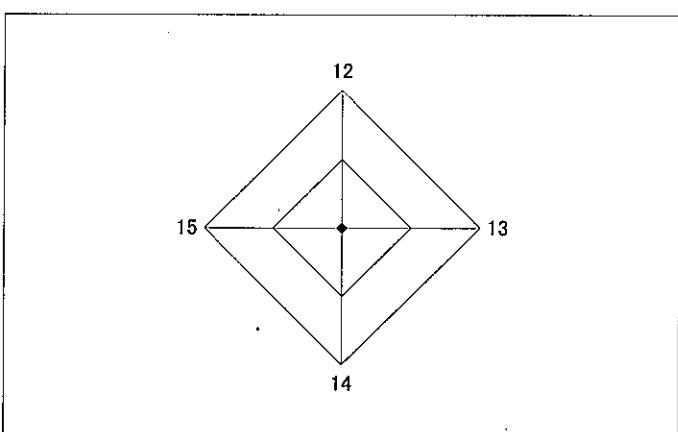
別表 結果の総括

区分		できていな い					できてい る					
		1	2	3	4	5						
チ エ ツ クリ ス ト	住民のニーズ把握											
	健康増進計画との関連											
	健康づくりのための重点目標											
	その他(他の事業との連携)											
		対象数	回収数	回収率	1	2	3	4	5	6	7	アンケートの評価
アン ケ ート	健康手帳の交付 (活用度:アンケート2的回答)				人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)				
	健康教育 (役立ち度:アンケート3的回答)				人 (%)	人 (%)						
	健康教育 (行動変容:アンケート4的回答)				人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)		
	健康相談 (役立ち度:アンケート3的回答)				人 (%)	人 (%)						
	健康相談 (行動変容:アンケート4的回答)				人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	
	健康診査 (行動変容:アンケート4的回答)				人 (%)	人 (%)						

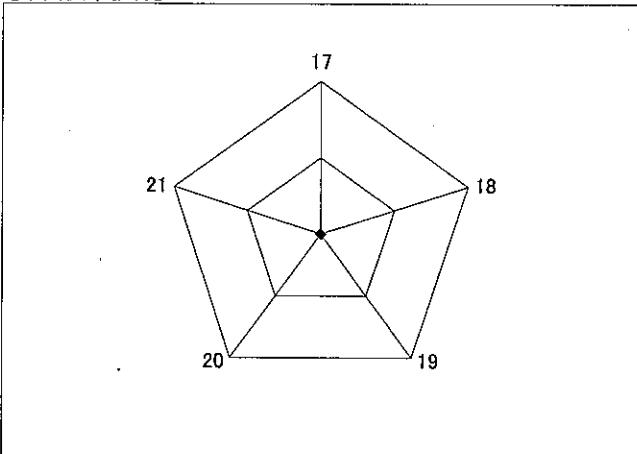
【健康手帳】



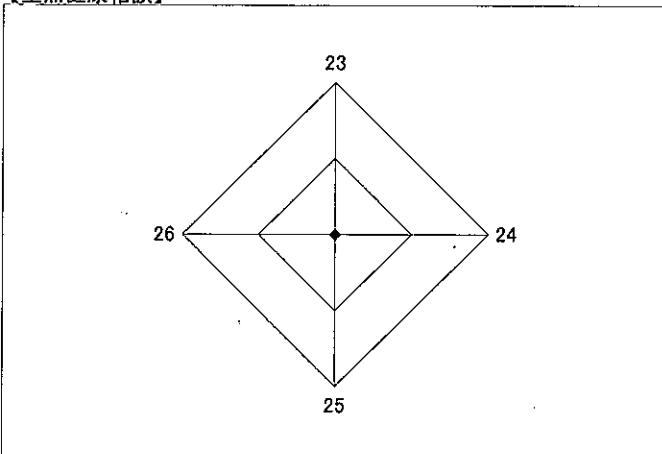
【個別健康教育】



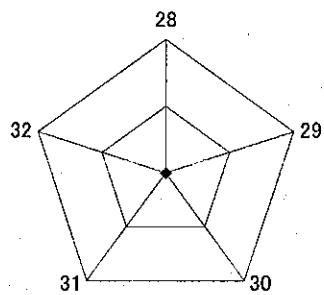
【集団健康教育】



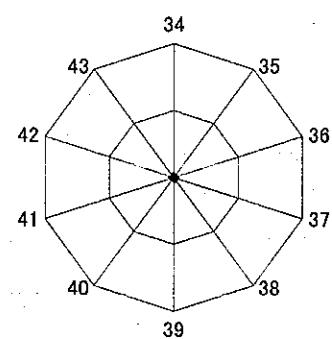
【重点健康相談】



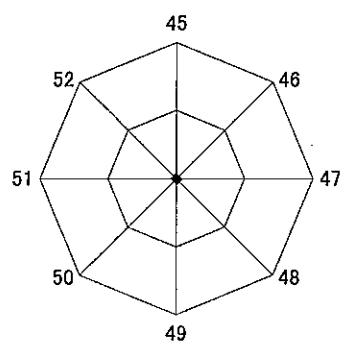
【総合健康相談】



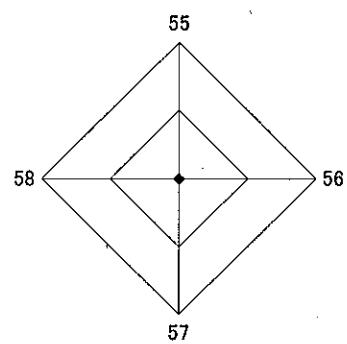
【健康診査】



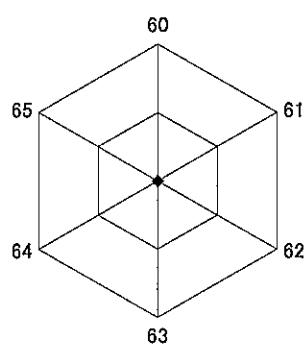
【健康診査(がん検査)】



【機能訓練】



【訪問指導】



全体所見

今後の方針性

参考

【地区診断について】

〈項目〉

- ・基礎資料(人口、年齢構成、保健・医療に関する施設)
- ・死因別死亡統計(標準化死亡比)
- ・疾病統計(国保5月診療分のレセプト情報、健診データから情報を得る)

〈重点目標〉

各市町の重点目標に沿って、現状、課題、対策等を記述する。

※各市町のデータを他市町あるいは、県全体のデータと比較。経年的に比較をし、総合的な判断を加える。

【結果の総括の記入について】

- ① 各市町にチェックリストを記入し、提出してもらう。アンケートについては、総括表にある項目を集計し、提出してもらう。
- ② 「住民のニーズ把握」、「健康増進計画との関連」、「健康づくりのための重点目標」、「その他(他の事業との連携)」について、チェックリストの評価項目を参考にしながら、5段階評価をする。
- ③ アンケートは、表の項目にあげているアンケートの項目について、対象数、回収数、回収率、アンケートの回答の構成割合を記入し、評価をする。
- ④ 「健康手帳の交付」、「個別健康教育」、「集団健康教育」、「重点健康相談」、「総合健康相談」、「健康診査」、「健康診査(がん検診)」、「機能訓練」、「訪問指導」の各項目について、チェックリストの評価をレーダーチャートに記し、実態を視覚的に確認する。
レーダーチャートに段階を転載する際、パーセンテージで記載する。
- ⑤ 各市町に対し、ヒアリングを行う。
 - (1)現在、どのように健康増進事業を実施しているか。
 - (2)今回、各市町で評価してみて改善する点はあるか。
 - (3)健康増進計画との関連について聞く。
 - (4)特定健診・特定保健指導、国保事業、介護保健事業との連携状況を聞く。
 - (5)重点目標について、現状、課題、対策等取り組みについて聞き、今後どのような事業を展開していくか聞く。
 - (6)健康増進事業補助金を交付している市町に対してこの評価を実施するのが原則であるが、各市町の状況を把握するのは圏域計画を推進していく上で必要なので各市町に対して、ヒアリングを実施しても差し支えない。
 - (7)地区診断についての各市町の意見を聞き、必要であれば、【参考】を参照しながら、助言を行う。
 - (8)その他、この評価マニュアルについての要望・意見を聞く。

【健康診査対象者数の算定方法について】

検 診 名	対 象 者	算 定 方 法
基本健診	40歳以上の者 (特定健診対象者を除く)	生活保護受給者
歯周疾患検診	40, 50, 60, 70歳	(40歳)+(50歳)+(60歳)+(70歳)
骨粗しょう症検診	40,45,50,55,60,65,70歳女性	(40歳女) + (45歳女) + (50歳女) + (55歳女) + (60歳女) + (65歳女) + (70歳女)
がん検診	40歳の者及び40歳以上の者で過去に受診機会を逸した者	H14~H18の住民検診対象者(40~74歳) + H19年40歳 + H20年40歳 + H21年40歳 + H22年40歳 + H23年40歳 (以後毎年40歳になる者を加えていく)
	胃がん、肺がん、大腸がん 40歳以上の者	① - (②-③) - ④-⑤
	乳がん 40歳以上女性	※受診間隔が2年に1回の子宮がん及び乳がん検診⇒前年度受診者数+今年度受診者数-2年連続
	子宮がん 20歳以上女性	
	総合がん 40歳、50歳の者	

- | |
|---------------------------------------|
| ①40歳以上の市町人口 |
| ②40歳以上の就業者数 |
| ③40歳以上の農林水産業従事者 |
| ④要介護度4・5の認定者 |
| ⑤県内市町に居住する被爆者健康手帳等所持者及び第1種健康診断受診者証所持者 |